佳　作

キャッチフレーズ

自然を身近に感じられる家

応 募 者　施工者：　相羽建設株式会社　代表取締役　相羽　健太郎

建物概要

建築面積　　１２１．００㎡

延べ面積　　８９．４２㎡（1階　４４．７１㎡　２階　４４．７１㎡）

設計趣旨

高台になった敷地の特性を活かすために、２階にリビングを配置し、大きくひらけた眺望をリビングへ取り込む計画とした。

北側斜面のため、日射を得にくい立地だが北側へ大きな開口を設けることで落ち着いた明るさのリビングとなった。熱環境的にも日射が得にくいことが懸念点であったため、断熱性能を高め全館空調を導入している。

二本の杉の大黒柱が支える箱型の空間は、他に柱が必要のないがらんどうな空間を可能にし、間取り変更の自由度を高めている。

更新の容易なつくりとし、時が経つほど味わいが増す自然由来の素材を用いることで、長く愛着を持って住み続けられるよう配慮を行った。

木をより身近に感じてもらい、自然を身近に感じられるよう、山の見学会で木をどんなふうに育て、伐採し、住宅で使う木にするのか知ってもらったり、ダイニングテーブルなどの家具も大工さんが作ったものとした。

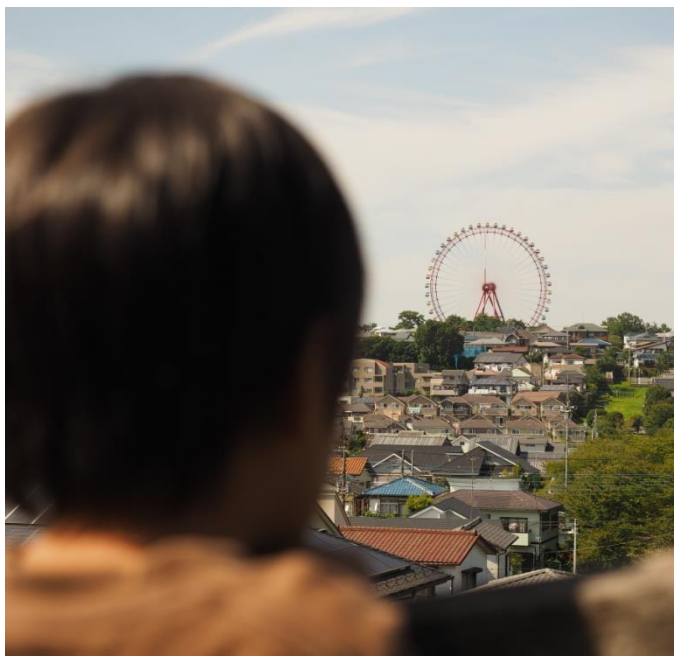
各階平面図

２階居間

山のバス見学会

これから木の家を建てる人やその子供たちに木をどんな風に育て、伐採し、住宅で使う木に製材するのか林業、プレカット工場を見学し知ってもらう。

南側外観



２階ダイニング